

梅雨前線による大雨に伴う洪水【河川防災情報】(第6報)

河川災害対策支部『注意体制』に移行

秋田河川国道事務所では、梅雨前線に伴う大雨の影響により、雄物川が氾濫危険水位を超えたため河川災害対策支部『非常体制』を発令し監視を行っていましたが、水位の低下にともない本日19:00に『警戒体制』に移行し状況を監視しておりました。その後も水位が低下し、椿川水位観測所で氾濫注意水位を下回り今後も水位の低下が見込まれるため、河川災害対策支部を『注意体制』へ移行しました。

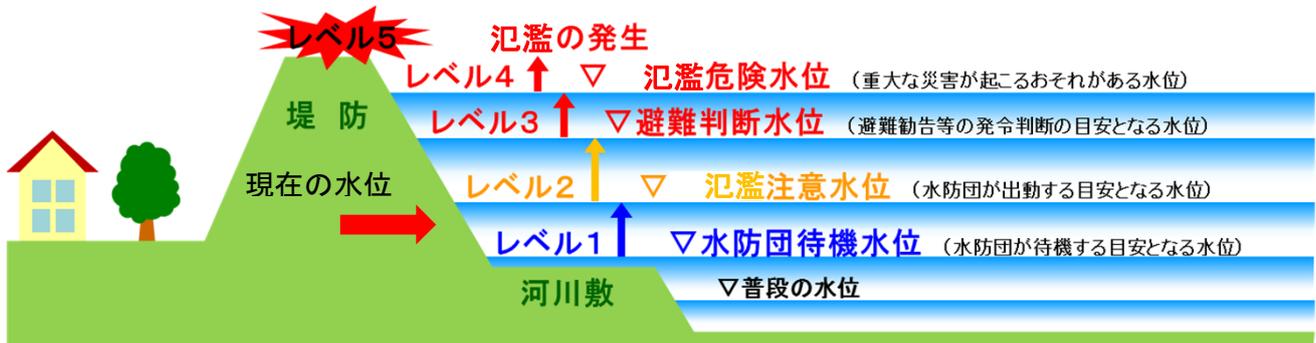
なお、現在のところ河川施設に損傷は確認されていません。

1. 秋田河川国道事務所の体制【河川】

体制	注意体制	警戒体制	非常体制	警戒体制	注意体制	解除
日時	H29.7.22 18:20	H29.7.22 21:05	H29.7.23 9:00	2017年7月24日 19:00	2017年7月24日 22:10	

2. 管内水位状況 【 2017年7月24日 23時00分 時点 】

河川名	水位観測所	水位	状況	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	備考
子吉川	矢島	1.53m	—	2.900m	4.100m	—	—	
子吉川	明法	0.26m	—	1.500m	2.200m	4.000m	4.700m	
子吉川	二十六木橋	0.97m	—	3.300m	4.000m	5.600m	6.000m	
雄物川	椿川	6.46m	下降中	5.600m	6.600m	8.000m	8.100m	
石沢川	鮎瀬	0.73m	—	2.500m	3.400m	4.200m	—	



3. 管内情報(水防団活動状況、被害状況、対応状況 等)

・特になし。

4. 今後の見通し

・雄物川の水位は低下する見込み。

〈記者発表先: 秋田県政記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

〒010-0951 秋田市山王1丁目10-29

TEL 018-823-4167(事務所代表)

副所長(河川) 泉谷 敏広 (内線204)

調査第一課長 栗田 政芳 (内線351)